

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：豊岡ひまわり保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：海老名 玲美	定員（利用人数）： 60名(利用人数：59名)
所在地：〒230 - 0062 横浜市鶴見区豊岡町35-26	
TEL：045-717-5073	ホームページ： <a href="https://toyooka-himawari.com">https://toyooka-himawari.com</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：令和元年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：有限会社ブリッジマネジメントサービス	
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：4名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長：1名 栄養士：2名
	主任：1名 子育て支援員：1名
	保育士：13名 保育補助：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 調理補助：1名
	（設備等）
	保育室：6室 園庭：あり
	トイレ：6ヶ所
調理室：1室	
事務室：1室	

③理念・基本方針

<保育目標>素直な子・元気な子を保育目標とし、遊びや生活の中で豊かな体験を通じて、様々なことを感じ、気づき、やってみようという気持ちや意欲を育む。また行事を通じて、異年齢の子どもたちや地域との交流を大切にし、社会性を育てる。

<運営方針>一人ひとりの子どもに寄り添い、思いや育ちをしっかりと受け止め、家庭にいたるような雰囲気とくつろぎの場となる環境づくりに努めます。子どもたちが安心して園生活を送ることができるよう、職員一同気持ちを一つにして保育をします。

④施設・事業所の特徴的な取組

ももとは鈴木助産院でお産をしたときに、その兄弟、姉妹児をお預かりしていました。平成17年に鶴見中央で認可外保育施設（横浜保育室）として移行し、助産師である鈴木乙羽のもと運営を行って来ました。保育室ということもあり、ご家庭の様々な状況に対応し、まるで家族のようにアットホームな空間をつくることを目標にして子どもや保護者に寄り添い、保護者との信頼関係を大切にしながら保育を行って来ました。そのため兄弟姉妹児もひまわり保育園に！という保護者が多く、10年以上通われた方がたくさんいます。その後平成31年に鶴見区豊岡町に60名定員の認可保育所として移行しました。横浜保育室の時から働いている職員が現在もたくさん在籍しており、20年近く共に働いてくれている職員が中心となり、保育を行って行きます。新しい風を入れながら日々の保育に真剣に向き合い、運動会や発表会といった行

事にも力を入れています。また、保護者との連絡ツールは口頭と連絡帳で行っており、特に連絡帳では保育士が丁寧にお子さまの様子やご家庭での相談などに対応しています。ピアノや体操、英語などの習い事は行っていませんが、保育の中でリズム遊びやリトミック、製作などを取り入れ、晴れた日は公園に行き思う存分遊び、しっかり食べてゆっくり眠るという生活のリズムを大切にしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年10月1日（契約日）～ 令和6年3月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)一人ひとりを大切にしながら、心身の健全な発達を目指しています  
 子どもの個性や個人差を大切に、家庭にいるような雰囲気とくつろぎの場になるよう、安心・安全な環境作りに努めています。その中で、基本的な生活習慣が自然に身につくよう日々の関わりの中で支援をしています。また、健全な心身の発達のため積極的に散歩に出かけ、十分に体を動かすことや自然との触れ合いを重視しています。体を動かした後は食事と休息をしっかりと、心身の成長を促しています。こうした「保育の基本」を重視した姿勢は、利用者からも高い評価を得ています。

2)行事を通して、子どもの成長や友だちとの関わり方などの学びに寄与しています  
 運動会での組体操、生活発表会での演目など、発表内容をクラス単位で決定し、その準備のための練習を友だちと共同で行っています。その他、夏祭りや秋のお楽しみ会、月末の誕生日会も全クラス共同で行うなど、行事の内容が充実しています。友だちとの協同作業により子どもたちの成長を育み、担当する職員の人材育成にも役立っています。

3)年度目標を明確にした事業計画の策定が望まれます  
 法人の新代表就任後間もない時期に第三者評価を受審しています。組織体制の整備が十分に確立されていない園環境の中、保育の体制を整え、日々の活動に努めています。今後は、保育運営全般に関する中・長期の計画を策定し、中・長期計画でのビジョンを単年度計画につなぎ、目標とする保育理念の達成へ向けて取り組むことが望まれます。

4)人材育成の目標・計画の設定が期待されます  
 一人ひとりの職員のスキルアップ体制が十分ではありません。人材育成の目的・目標・期限などを明確にし、定期的な面談や会議などで職員の意識向上を促すとともにバックアップ体制を整えることが望まれます。また、園の方針（運営方針）・保育目標は、開園以来変わらぬ内容を掲げており、職員に改めて周知・理解する機会を設けていませんが、定期的な学習の場を設け、園の方向性に沿った保育実践ができているか、自身の振り返りや見直しにつなげることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

横浜保育室から認可移行し5年目を迎え、初めての第三者評価を受審させていただきました。今回受審して感じたことは、運営をしていく中でまだまだ理解しきれていない部分が多く、評価調査員の方からのご指摘やアドバイスで、今後の課題の見直しや、職員間の認識の共有化を深め、定期的に自己評価を行っていきながら改善してい

くことが必要だということです。

全職員で保育・運営についてしっかり時間を設け、話し合う機会がくれたことで、大変な部分もありましたが漠然と見えていた課題と、今回の結果が一致した部分も多く、改善するにあたり明確にすることができたと感じています。

また、保護者の皆様からのご意見も真摯に受け止め、今後も期待と信頼に応えられるよう努めていきたいと感じました。

これからも自己の保育を見直し、全ての職員と課題を共有し改善していきます。評価調査員の方には丁寧に説明、評価をしていただき感謝申し上げます。また、保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり